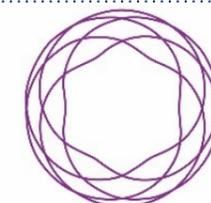


# 採用・入職促進活動について

**団体名** : 株式会社堀之内工務店

**活動期間** : 2021年4月～現在 継続中  
(研修期間2021年6月～7月)

**発表日** : 2022年 3月 8日



# 《会社概要》

- 社名 株式会社 堀之内工務店
- 設立 1967年12月 創業現在54年
- 所在地 鹿児島市
- 事業内容 型枠工事部・建築工事部
- 社員数 役員3名 従業員72名 協力会社31名

## CCUSカード取得状況

- 2018年12月まで社員全員 100% 登録
- 2019年3月までに協力会社 100% 登録済み済み
- 現在 レベル4 (ゴールド) 17名 (1月31日現在)  
➡ (社員、協力会社含む)

## 活動背景

若年新規入職者の減少

採用が安定しない・定着率の悪さ

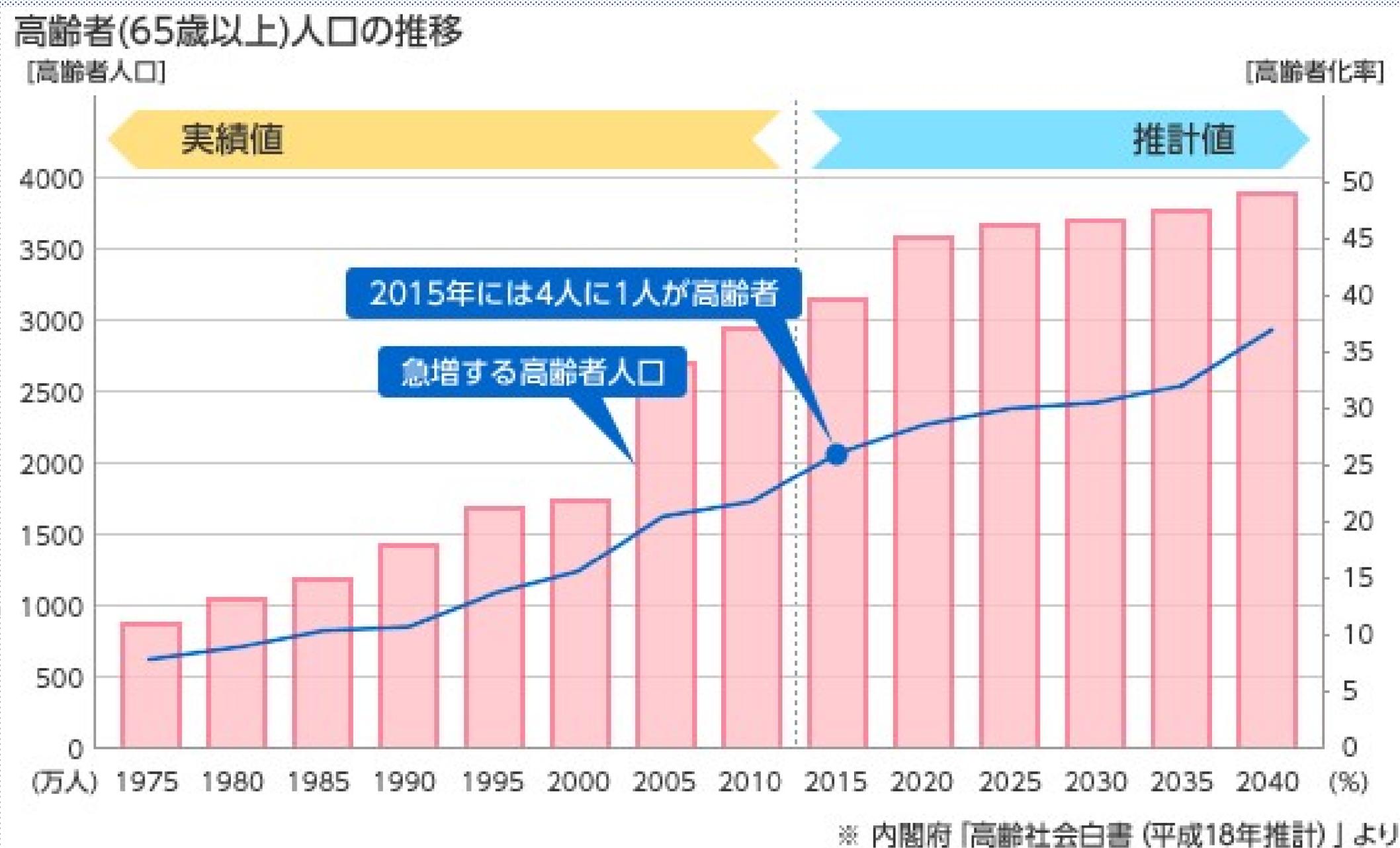
技能者の高齢化

## 活動内容

研修所（学科）研修センター場（実技）の開設

リクルート用のビデオ動画作成（コロナ禍にて撮影できず）

富士教育訓練センターにてOFF-JT（資格取得、訓練）



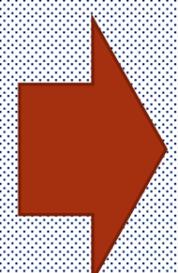
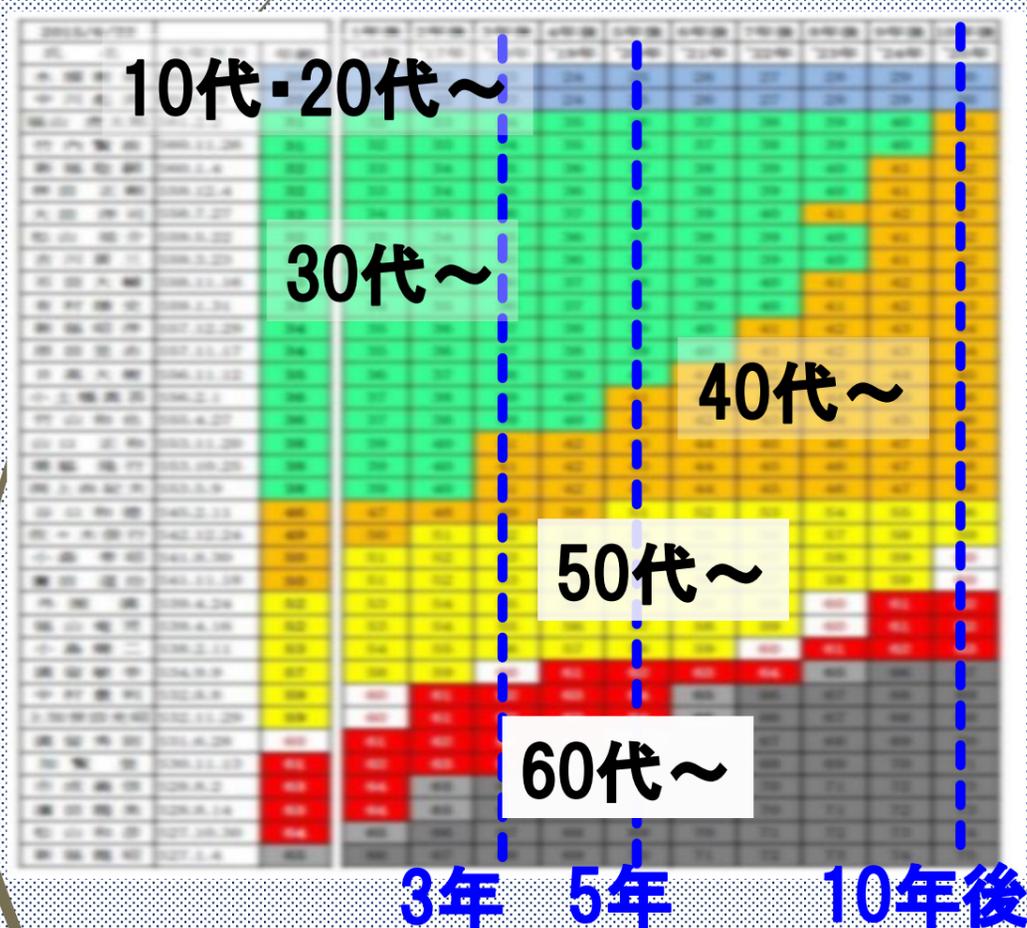
2013年から若手人材の確保に動き出す

# 状況分析

どうすればいいのか？  
弊社の年齢分析を行ってみました。

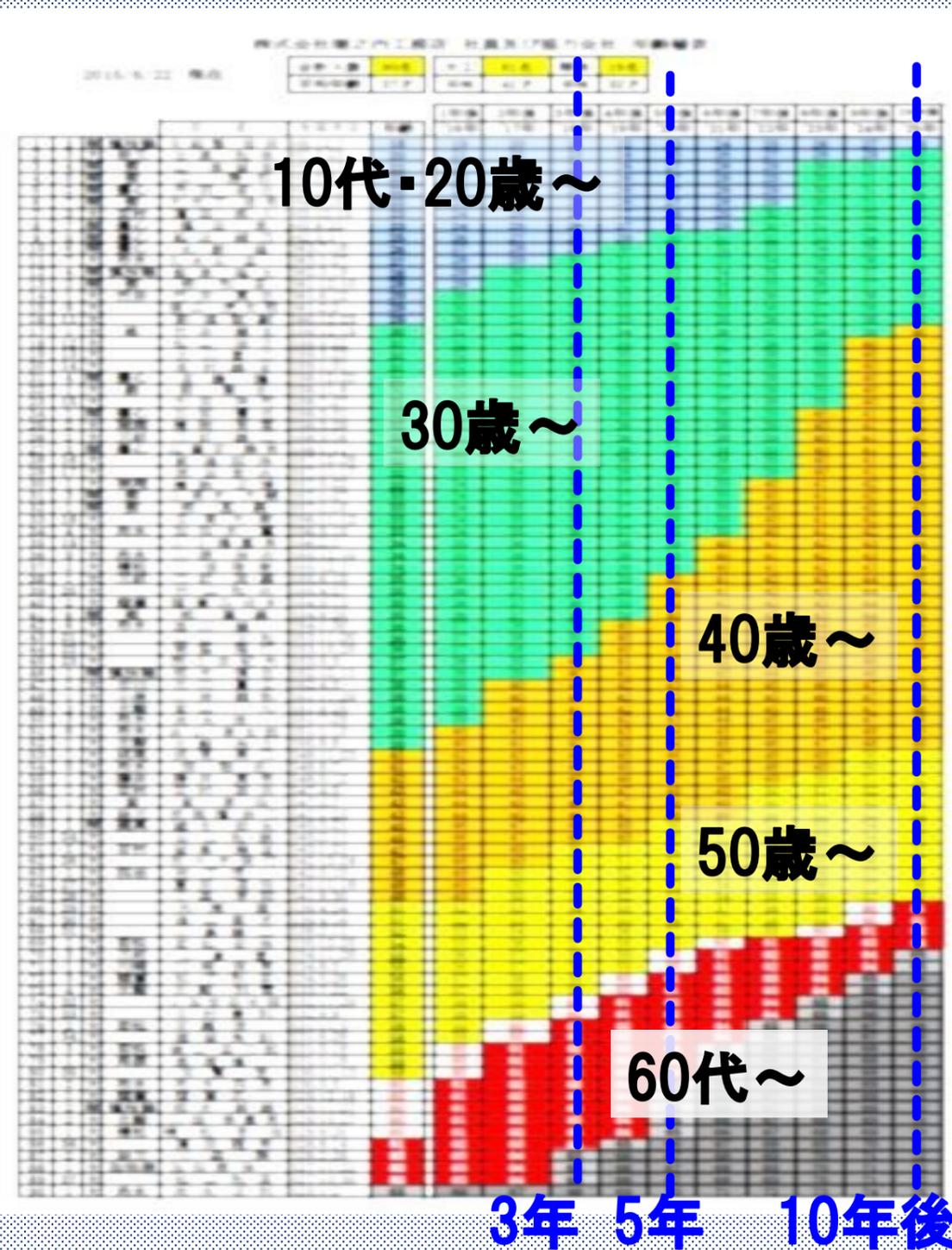
[弊社職員のみ]

2022年～2032年



「専属作業員と合算した分析」

2022年～2032年



# 「物づくりは、人づくり」 人材確保・育成へ動きだす！

労働人口と若手入職者③

1. 技能者が入ってこない！



本格的なリクルート活動が必要！

2. 今までは入社しても、すぐやめる！



「メンタルケア」「仕事に対する思い」に配慮し、人材育成必須！

3. 若年層を雇用し続けたらどうなる？



品質が悪くなり、熟練の「技の伝承」が薄れる。育成が必要。

# 求人活動の経緯

以前は、効率・職人の不評もあり、新卒者を積極的に応募せず入社してもすぐ辞めていました。

平成26年9月

人材確保育成事業による雇用拡大プロセス  
(雇用型)実施

ターニングポイント

平成26年10月

中途採用2名

平成26年11月

※継続雇用の見通しあり  
勤務記録日誌が効果を出し、  
育成に成功。(後半に説明)

平成27年4月

育成方法を学校に説明

新卒採用2名

専属職長によるマンツーマン育成方法導入。

平成27年7月

建設産業担い手確保・育成事業実施  
(求人票改善)

中途採用5名

平成27年8月

担い手確保・育成事業も継続して実施。

平成30年12月

地域未来索引企業に選定される

新入社員採用

年度	新入社員採用	実習生
平成29年	4名入社	3名
平成30年	0名入社	3名
平成31年	3名入社	6名
令和2年	3名入社	2名
令和3年	6名入社	

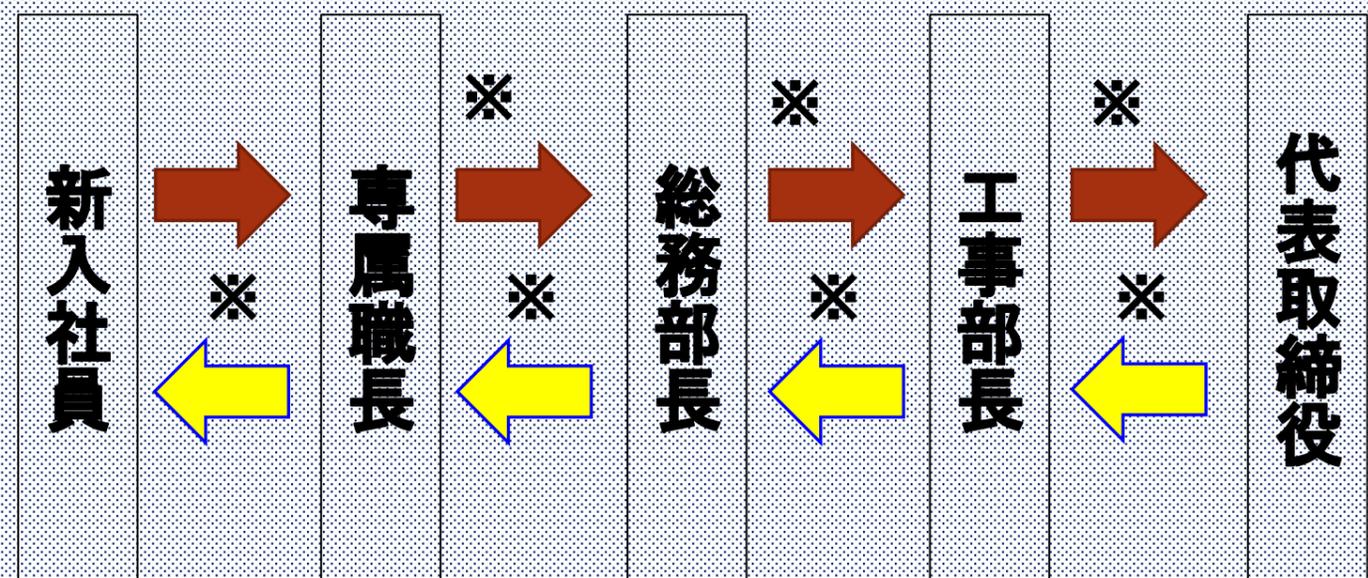
# 育成プログラム

## 勤務記録日誌のしくみ・流れ（フィードバック形式）

- ・ 専属職長に質問しなければ日誌は書けない。（コミュニケーション）
- ・ 専属職長は、日誌を通して、新入社員の気持ちを把握し、評価。
- ・ 総務が現場視察・日誌回収。育成の状況を本社に伝える。（会社全体の取組み）
- ・ 経営者は、現場のやり取りを把握。
- ・ 新入社員は、皆が自分を知ってくれている（関わってもらっている）と分かる。



※コメントを記入する。



# 自分の評価

# 職長の評価

勤務記録日誌

目標達成シート(上司が覚えてほしい内容を分かりやすく記入してください。)

※能力水準欄に3日間の目標を記入し、達成しているか、評価して下さい。確実にできるように指導し、専属職長、指導員は、その目標にどのくらい達成しているか、評価して下さい。確実にできるように指導し、  
 ※A:優良(100~80%)、B:良(80~60%)、C:可(60~30%)、D:不可(30~0%)

○仕事を覚えて行くための基礎的な仕事を遂行するために必要な能力水準

能力水準	自己評価	専属職長評価(達成率)	100%	100%
例) 出勤時間、約束の時間は守る	A・B・C	A・B・C・D	100%	100%
大きな声であいさつができる	A・B・C	A・B・C・D	100%	100%
身だしなみ・ヘルメットを確実にやっている	A・B・C	A・B・C・D	100%	100%
作業5分前の万全体制で行動できる	A・B・C	A・B・C・D	100%	100%
5S活動を行う	A・B・C	A・B・C・D	100%	100%
自分の体調管理に気を配る	A・B・C	A・B・C・D	( )%	( )%
○入社後の見習いの期間でマスターすることが期待される仕事を遂行するために必要な能力水準	A・B・C	A・B・C・D	(80)%	(80)%
例) 道具や機材を覚え、運搬作業を行う	A・B・C	A・B・C・D	(80)	(80)
主な道具の名前を覚える(シートA Lv1)	A・B・C	A・B・C・D	(80)	(80)
上記、道具が何の為に使うか分かる	A・B・C	A・B・C・D	(80)	(80)
主な材料の名前を覚える(シートB Lv1)	A・B・C	A・B・C・D	(80)	(80)
上記、材料が何の為に使うか分かる	A・B・C	A・B・C・D	(80)	(80)
上司や先輩から指導を受けながら行う仕事を遂行するために必要な能力水準	A・B・C	A・B・C・D	( )%	( )%
例) 指示された内容を理解して動く	A・B・C	A・B・C・D	( )%	( )%
指示された内容を確実に行動できる	A・B・C	A・B・C・D	( )%	( )%
現場KYを聞かれても答えられる	A・B・C	A・B・C・D	( )%	( )%

※コメント欄及び備考欄

社長 (印) 工事部長 (印) 指導員 (印)

## 能力水準

- ・大きな声であいさつができる
- ・指導されたことを確実にできる
- など17項目

## 本人の感想

勤務記録日誌

新入社員用(実践編)

株式会社 堀之内工務店 2021.4.1

決裁 社長 (印) 工事部長 (印) 課長 (印) 総務 (印) 指導員 (印)

提出者氏名 内村 翼

作業内容(当てはまる作業の番号を書き込んで記入)複数可  
 1.縄張り 2.遣り方出し 3.杭芯出し 4.捨てコン砕入れ 5.型出し(1.基礎 or 2階数) 6.加工  
 7.型枠建込(1.基礎 or 階数) 8.底の(1.基礎 or 階数) 9.通り直し・10.レベル出し(1.基礎 or 階数)  
 11.コンクリート相番(1.基礎 or 2階数) 12.解体・13.撤出・14.片付(1.基礎 or 階数) 15.置場・16.その他(内容記入)

令和 3年 11月 8日(月) 天気(雨) 現場名 南都支店 解体

研修内容:番号記入(何を教わっているか、教わったか指導員又は職長に聞く)

本人の感想 今日南都支店解体の現場に行きました。レベルを見て高さをあわせて木をコンクリート釘が打ちつけました。コンクリート釘が打ちつけられたりして、終わらせてもらいました。レベルも覚えて効率良く作業できるようにします。

(指導員・職長コメント) 解体の手順も覚えて効率良く作業できるようにします。

令和 3年 11月 9日(火) 天気(曇り) 現場名 南都支店 解体

研修内容:番号記入(何を教わっているか、教わったか指導員又は職長に聞く)

本人の感想 今日土間止め木地を上げやりました。レベルを見て高さをあわせて木をコンクリート釘が打ちつけました。コンクリート釘が打ちつけられたりして、終わらせてもらいました。レベルも覚えて効率良く作業できるようにします。

(指導員・職長コメント) レベルも覚えて効率良く作業できるようにします。

令和 3年 11月 10日(水) 天気( ) 現場名 南都支店 加工

研修内容:番号記入(何を教わっているか、教わったか指導員又は職長に聞く)

本人の感想 今日南都支店解体の現場に行きました。レベルを見て高さをあわせて木をコンクリート釘が打ちつけました。コンクリート釘が打ちつけられたりして、終わらせてもらいました。レベルも覚えて効率良く作業できるようにします。

(指導員・職長コメント) 釘打機の使用時は、打っ近くに手を置かない事と、保護眼鏡の使用を必ずに

区分	実施日[研修内容]	OJT指導員及び研修時間	
		指導員氏名	研修時間
JTF	O 研修期間・OFF-JT研修内容・研修機関先名・期間(OJT併用欄)	研	修 時 間
	JTF	研	修 時 間
	JTF	研	修 時 間

OJT時の指導員コメント

指導員 (印)

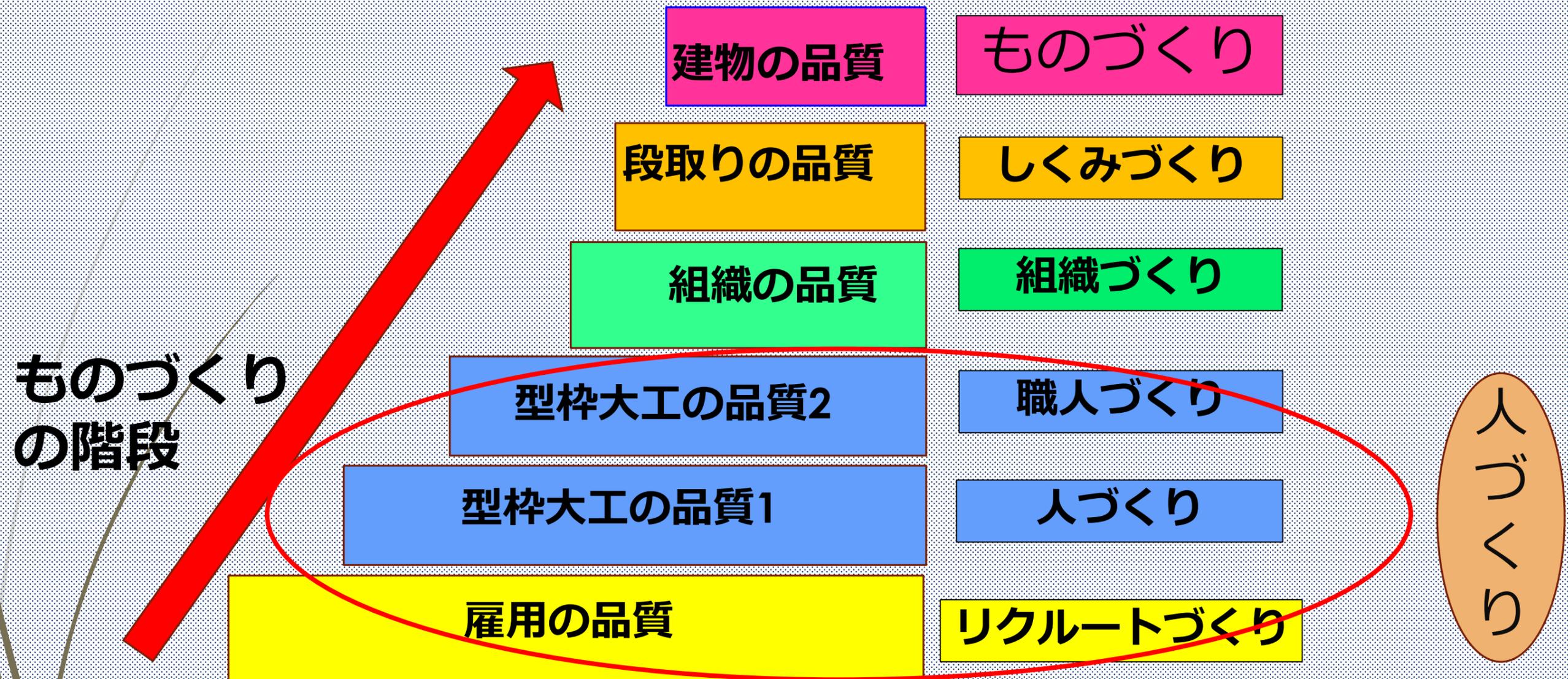
## 職長のコメント

## 3日間の総合評価

# 育成プログラム「物づくりは、人づくり」

※参考資料より抜粋

若い職人を定着させる育成の取組み



どんなに良いしくみ、組織を用意しても、それを使う職人の品質が良くなければ建物の良い品質は維持できない。目先の品質も大事だが、後進の人材を見直す必要がある。

# 若手技能者の育成

新人教育と資格取得の推進

過去5年間で新入社員（高校生、専門学校生） 16名入社

技能実習生 14名入社

現在の職人平均年齢 約 38歳

平成30年、本社3階に新入生研修室を作る。

令和1年、資材センターに社員用研修場を作る。



本社事務所 研修室



資材センター研修場

夏場暑さ対策として、社員全員に空調服、防暑垂れ、冷感マスク

冬場寒さ対策として、社員全員に 防寒ベストを支給する。

# 研修室・研修センターにてOJT教育

4月		場所	午前	座・実	時間	講師	講義内容		場所	午後	座・実	時間	講師	講義内容
1日	木	本社3F	入社式・講座	座学	3.5	社長	本社内社長(30分)・丸山部長の講話(30分) DVD動画説明		本社3F	DVD・道具役割名指し	座学	4	種子田	道具役割・名称 DVD動画説明
2日	金	本社3F	9:00健康診断	-	3.5	岩瀬	安全衛生・ヘルメットセンターの健康診断・健康講話		本社3F	DVD・道具役割名指し	座学	4	種子田	道具役割・名称 DVD動画説明
3日	土	本社3F	DVD・道具役割名指し	座学	3.5	種子田	道具役割・名称 DVD動画説明		本社3F	DVD・道具役割名指し	座学	4	種子田	道具役割・名称 DVD動画説明
4日	日													
5日	月	本社3F	安全作業マナー DVD	座学	3.5	種子田	安全作業マナー DVD動画説明		本社3F	安全作業マナー DVD	座学	4	種子田	安全作業マナー DVD動画説明
6日	火	本社3F	資材名称規格寸法	座学	3.5	種子田	資材テキスト		本社3F	資材名称規格寸法	座学	4	種子田	資材テキスト
7日	水	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	鋼管・ケレン		資材S	使用材料整備実践	実技	4		鋼管・ケレン
8日	木	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	資材説明 剥離剤塗布		資材S	使用材料整備実践	実技	4		資材説明 剥離剤塗布
9日	金	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	ステン・釘しめ ぺニヤ ポイド		資材S	使用材料整備実践	実技	4		ステン・釘しめ ぺニヤ ポイド
10日	土	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	サポート		資材S	使用材料整備実践	実技	4		サポート
11日	日													
12日	月	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	兼用し座金 金物		資材S	使用材料整備実践	実技	4		兼用し座金 金物
13日	火	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	止水版		資材S	使用材料整備実践	実技	4		止水版
14日	水	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	アンカー		資材S	使用材料整備実践	実技	4		アンカー
15日	木	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	綿付け金物 チェーン ターンパツクル等		資材S	使用材料整備実践	実技	4		綿付け金物 チェーン ターンパツクル等
16日	金	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	ペコビーム等 AXビーム種類 ビームR200・400		資材S	使用材料整備実践	実技	4		ペコビーム等 AXビーム種類 ビームR200・400
17日	土	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	型パネル ダブルライト クリップ		資材S	使用材料整備実践	実技	4		型パネル ダブルライト クリップ
18日	日													
19日	月	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	面木等 釘の種類 コンクリート釘		資材S	使用材料整備実践	実技	4		面木等 釘の種類 綿付け用ロール釘
20日	火	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	鋼管ケレン 可搬式丸鋸盤		資材S	使用材料整備実践	実技	4		鋼管ケレン 可搬式丸鋸盤
21日	水	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	鋼管ケレン 栈木ケレン機械		資材S	使用材料整備実践	実技	4		鋼管ケレン 栈木ケレン機械
22日	木	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	釘打ち・抜き機		資材S	使用材料整備実践	実技	4		釘打ち・抜き機
23日	金	本社3F	使用材料整備手順	座学	3.5	種子田	面木打ちタッカー		資材S	使用材料整備実践	実技	4		面木打ちタッカー
24日	土	本社3F	図面の読み取り作業	座学	3.5	種子田	建物構造 RC WRC		本社3F	図面の読み取り作業	座学	4	種子田	建物構造 RC WRC
25日	日													
26日	月	本社3F	図面の読み取り作業	座学	3.5	種子田	建物構造 SRC S		本社3F	図面の読み取り作業	座学	4	種子田	建物構造 SRC S
27日	火	本社3F	図面の読み取り	座学	3.5	種子田	加工図面 施工図 立ち位置		本社3F	図面の読み取り	座学	4	種子田	加工図面 施工図 立ち位置
28日	水	本社3F	図面の読み取り	座学	3.5	種子田	加工図面 施工図 立ち位置	立ち位置	本社3F	図面の読み取り	座学	4	種子田	加工図面 施工図 立ち位置
29日	木	本社3F	図面の読み取り	座学	3.5	種子田	加工図面 施工図 立ち位置	立ち位置	本社3F	図面の読み取り	座学	4	種子田	加工図面 施工図 立ち位置
30日	金	本社3F	図面の読み取り	座学	3.5	種子田	加工図面 施工図 立ち位置	立ち位置	本社3F	図面の読み取り	座学	4	種子田	加工図面 施工図 立ち位置

学科 133.5時間

実技 102時間



### 型枠基礎コース

\* 概要 初心者に対して、型枠工事の概要、  
工具類の取り扱い、型枠工事の施工法及び安  
全作業法について基礎的な技能を習得させる。

\* 対象 初心者（実務経験 0～3  
年）が対象となる。

\* 人員 12名 / 回 （全国より）

\* 日程 令和3年6月21日～7月23日

\* 訓練日数 27日

\* 訓練時限数 204時限

学 科 受 講 中



小型移動式クレーンの講習中



型枠の建込み状況



槍型杭心出しの実習中

実地訓練受講中



柱 型枠建込み状況



柱 型枠建込み状況と型枠の建込み状況

カリキュラム

- 1, 安全衛生 (4時限)
  - ①社会人の責任と義務
  - ②挨拶と集団行動
  - ③教育訓練全体の復習、まとめ
- 2, 型枠概論 (8時限)
  - ①型枠工事とは
  - ②型枠の加港及び材料説明
- 3, 型枠施工法 (8時限)
  - ①型枠加工帳の説明
  - ②加工帳の作成
  - ③材料の拾い出し
- 4, 型枠工事实習 (72時限)
  - ①危険予知
  - ②墨出し
  - ③型枠の組立
  - ④型枠の加工
  - ⑤型枠の解体
- 5, 安全衛生作業法 (112時限)
  - ①小型移動式クレーン
  - ②玉掛け
  - ③高所作業車
  - ④低圧電気取扱い
  - ⑤足場の組立て
  - ⑥酸素欠乏
  - ⑦携帯用丸のご盤作業
  - ⑧フルハーネス

# 活動の成果

技能講習・・・小型移動式クレーン運転技能講習

玉掛け技能講習

高所作業車運転技能講習

特別教育・・・低圧電気取扱い作業特別教育

足場の組立て等作業従事者特別教育

酸素欠乏危険作業特別教育

フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

安全教育・・・携帯用丸のこ盤作業従事者安全衛生教育

◎ 全員が全ての資格取得いたしました。

- 共同生活を通じて規律を守る等、社会人としての自覚をもった。
- OJTで学習したことをOFF-JTで復習できた。
- 社内だけでなく全国に同期、ライバルができて連帯感が生まれた。
- 新卒求人に対して、学校へ保護者へのアピールにつながった。

# 一般社団法人戸田みらい基金 の皆様へ

この度は戸田みらい基金を活用させていただき、誠にありがとうございました。

最後になりますが、弊社はこれからも「物づくりは、人づくり」の精神を持ち続け、若い人材を育てていきます。

今後もお経験豊かな皆様のお知恵を拝借できれば幸いと存じます。

ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

ご清聴誠にありがとうございました。